

かつこ良い学生

新校舎完成、心から、オメデトウございます。
ACAジャパンは1993年4月に設立され、その時にネパールの皆さんに約束しました。
毎年、1年に1教育施設を建設して寄贈する。
2010年度も約束を守ることが出来ました。
今ここダンプスに18番目のビルディングが完成しました。
この資金は、日本のアカデミーという学習塾と内野会計事務所が出してくれました。
ACAジャパンはその資金のコーディネートをしました。
今日から皆さんのビルディングです。どうぞお受け取り下さい。

20分ほど、時間をいただきます。

一番上のお兄さんお姉さんは、5年生。
少し難しいかもしれませんが、一生懸命聞いて下さい。

私がネパールに来て新聞を読みますと、仕合せになったり嬉しくなったり出来るニュースがない。
ネパールでは、普通では考えられない変な、不幸な事件が多いと思いませんか？

それで、ネパールの人達は幸せなのでしょうか？

皆さんはまだ子供かも知れません、まだ学生かも知れません。
でも感じているでしょう。
思っているでしょう。
もっと良い社会を作りたいと。

そんなネパールで、私の周りには笑顔で楽しく勉強している学生が、
そんなネパールで、私の周りには笑顔で楽しく働く大人が沢山います。
この人達には共通点があります。

それは、こうしたいという夢を持って
こうしたいという目的を持って、
その夢や目的のために一生懸命勉強し、
その夢や目的のために一生懸命働いているということです。

その人達の勉強や仕事のやり方ですが、
夢や目的を達成するために、
一寸工夫をしながら一生懸命に勉強し、
一寸工夫をしながら一生懸命に働いているところが他の人と違います。

中にはお金儲けのために一生懸命に勉強したり働く人もいるかも知れません。
そのお金で賭け事をしたり麻薬を買うなどの話はここではしたくありません。
一生懸命働いて儲けたお金を社会のために使えば、
皆さんの心は満足し神様も褒めてくれるはずです。
これを心持ち、心の金持ち、と言います。

心の満足を「心のステイタスが高くなる」と言います。
ステイタスとは地位という意味ですから、出世するとも解釈できます。

心のステイタスが高くなるとは、
良いことをして、心の中で満足するということです。

学校は夢と希望を持っている学生達に、
勉強する場所と、
社会に出た時に最低限必要なことを教えてくれるところです。
皆さんが学校を卒業した後の人生作りに役立つことを、教えてくれる所です。
学校は生徒である皆さんに、
生きがいのある人生を歩んで貰うために指導する。
それを目的としています。

勉強とは、これからの人生に必要な物を自分に引き寄せる方法を学ぶことです。
大人になってから、もっと勉強をして置けば良かったという人がいます。
そういう人を知っているでしょう。
そういう人は、自分の人生が思うようにならなくて苦労しているんですね。
この話に気が付くと、
出来るだけ苦労をしないで済むようにしっかり勉強しなければと気が付きます。

将来の夢と目的を持っていて、
だからいつも前向きで明るくて、
一生懸命に勉強し、
テストで良い点を取る人、
こういう人には同じような友達が回りに集まってきます。
そしてその友達は、
「あの人は頭が良いんだよ」、
「あの人は何でも一生懸命なんだよ」、
「あの人は夢を持っているんだよ」と、他の人に話してくれます。
これが自分だったら嬉しいですね。
そうすると、お父さんやお母さん達も一緒に喜んでくれます。

そうやって楽しみながら勉強した結果は
友達を増やす。
社会に出た時に応援してくれる人が増えます。
自分の夢や目的を実現するためにはこういう応援してくれる人達が必要です。

皆さん達からは、
私はエンジニアになりたい、
医者になりたい、
弁護士になりたい、
パイロットになりたい、
学校の先生になりたい、
看護婦になりたい、
福祉家になりたい、
社会問題を解決したい、
と聞いていますが、
それはやり方を間違えなければ殆んど実現できるでしょう。

やり方は、使命感、やる気があるかどうかから始まります。
ミッション(使命感)があるかどうかと言います。
「私はこれをやりたい」という強い気持ちを持って、
それを実現する理由をはっきりさせて、
両親や学校の先生達、友達に応援して欲しいと伝えていくことです。

「この指生まれ！皆おいでよ！
一寸聞いてくれる、
僕はこういう理由でこういうことをしたいんだ。
そうしたら僕の生まれた村が、
僕の住む村が
もっと発展するはずなんだ」
「こうすればネパールのためになるんだ、だからやりたいんだ」
「これは僕の使命感なんだ」
そうやって人に話すことは大事です。
人に話すことで、応援してくれる人が増えます。
自分の夢や目的を達成するために自分からそのきっかけを勇気を持って広げて行って下さい。

今話しているミッション(使命感)ですが、
使命感ややる気を持っている学生がかっこいいのは、
これからやるべきことが明らかで、頑張っているからです。
どこへ行って良いのか分からなければどうしますか？
行き場所が分かっていたらスタスタと行くことができます。
さっさと行く気が起きます。

ミッション(使命感)を持っている人は目的とやる気がありますから決して疲れず、更に頑張れます。
何を勉強しようかというミッション(使命感)を持った学生、かっこ良いですね。
生き方(目的)と勉強の仕方が一致した、生き生きとした笑顔で勉強を楽しむ学生。
だからかっこいいんです。
ミッション(使命感)を持っている人は決して疲れずに頑張ります。

誰だってかっこ良く成りたいんです。
かっこいい学生が増えれば、それに憧れる後輩も自然と増えてきます。
結果このダンプスが、そしてネパールがより良い国になっていきます。

学校はその地区のランドマーク、と言います。
新しくなった綺麗な校舎、日本人の協力で作った綺麗な新校舎、これは大きなブランドですね。

以下、ACAジャパンが、何も無い0から学校の登録をして、
新校舎を建設寄付したカトマンズにあるトオル・グヘソリ校での話です。
9日に先生方とトオル・グヘソリ校のグラウンドで
チキン・タルカリ・ダルバートを食べながら懇親会を持ちました。
その時、私と一緒に、学校を登録するために頑張った先生が、次のように言っていました。
「あの時はみんなが貧乏で、
近くに学校もなく
誰も学校に行っていませんでした。
あの時は協力してくれる住民が少なく文句ばかり言われました。

いきなり試験で1年生、2年生、3年生を決めて3年制度の学校を作りました。
毎年学年を1つずつ増やしてきました。
学校が出来て8年目からSLCに参加、
何と合格率80%以上で、この2年間は90%以上にもなっています。
今は皆が、やっと、学校は必要だと認めてくれています。
12年前にあなた達が頑張ってくれたお陰だ、と言ってくれた人がいます。
嬉しかったです。
嫌な思いもしましたが頑張ったかいがありました。
ACAジャパンが種を蒔いてくれたお陰です」
彼は僕にそう言ってくれました。
この話を聞いた僕も凄く嬉しかったです。
この話はACAジャパンが応援した学校が立派なランドマークに育った証拠です。
このカトマンズにあるトオル・グヘソリ校はSLCの合格率では既にブランドになっていますね。

学生時代は、勉強に一番時間を使う。
その時間を無駄にしないようにしたい。
勉強が楽しくないは、人生が楽しくないと同じ。
勉強を楽しむ工夫はみんなの人生に関わる大事なトピック。
自分の人生を考えるときには勉強の仕方も一緒に考えないと損をする。

自分の生き方と勉強の仕方が一致している人は仕合せです。
夢や目的の実現に向かって進んでいるからです。
ファンタジー、夢のようですか？
でもこれはこれからのあなた方のことです。
頑張って生きるということには目的や夢が必要です。

「私はブランド」、
生きていて良かったと思えること、
人や地域の役に立つこと、
それには心のステイタスを大きくする、
自分で大きく満足できる「私はブランド」を目指すことです。
「私はブランド」と言う言葉は、夢や目的を持っていて、そのために頑張っている。
それをお父さんやお母さん、先生、兄弟や友達が応援してくれる。
こういう人は頑張っているから、いつも元気でニコニコしているでしょう。
カッコいい学生ですね。
皆さんの友達にそんな学生はいませんか？

使命感のある、ミッションと言います。
ミッションのある学校で勉強するのは楽しい、
楽しく勉強する学生はカッコいい、
そんなカッコいい学生を沢山増やしたい。
これこそがACAジャパンのミッション(使命感)です。

今日ここに、日本から5人が参加して下さっています。
この人達が今何を考えているか分かりますか？

「杉本、早くスピーチを終えろ」

そんなことは考えていませんよ。
「いい学校が出来たなー、これからカッコいい学生達が増えるだろう。私達は良いことをした」
そう考えているに決まっています。
こう思えることが心のステイタスです。
ここに参加している日本からの4人は
この新校舎建設のお金を出してくれた人達です。
ACAジャパンがそのお金を預かってダンプスの皆さんと話し合い、
新校舎建設のお手伝いをしました。
私もこの4人の方々と同じように思っています。
「いい学校が出来たなー、これからカッコいい学生達が増えるだろう。私達は良いことをした」

どう思いますか？

今ここにカッコいい学生を育てる、
皆がかっこ良くなることを目指す新校舎が日本からのお手伝いで、完成しました。
学生諸君、心からオメデトウ。

先生方は、今日から新たな責任が生じたことを深く心に刻んで下さい。
私はこの新校舎建設を、ただでは応援していません。
これを機会に先生方が変わる。
変わらなければランドマークとしての期待は裏切られます。
カッコいい学生を育てる。
育てられなければ、地区に対して必要性の薄い学校となってしまいます。
私達は、大きな期待を持って、頑張ってきたのです。
新聞を授業に取り入れ社会性を育てる工夫、そんな視点で頑張ってください。
先生方、心からオメデトウ。

学校運営委員会は、学校の発展イコール地区の発展、
ダンプスの発展であることをよく理解して、
住民との話し合いの機会を持つなど、
教育を通したダンプス発展の司令塔として、
学校で必要とする化学実験の機材や図書、コンピューター等を取り揃えるための資金集めを拡大
するなど頑張らなければなりません。
政府校の発展は教育費を安くし、生徒達の家庭を助けています。
そんな視点を持って頑張ってください。
学校運営委員会のメンバーの方々、心からオメデトウ。

この地区の人々には、先生方と学校運営委員会のメンバー達を応援する責任を期待しています。
私達は、このトレッキングルートの飾り物として新校舎の建設を応援したのではありません。
私達は、将来の大きな発展を期待して応援し、頑張ってきたのです。
立派なランドマークにする責任は、まだ人生経験の無い学生だけでなく、
学校や地区住民の全員にあります。
地区住民の方々は、時々どうしたら良いか考えて下さい。
そして先生方や学校運営委員会のメンバー達と一緒に行動して下さい。
それがダンプスのためになり、皆さん方のためになります。

年寄りの方々、あと10年、20年頑張ってください。

年寄りというのは、人生の経験者という意味です。
エンムラージュはまだあなた方を呼んでいません。
あなた方は、今迄のその経験を、未来からの留学生であるこの学生達に与える義務があります。
その義務を果たさないでエンムラージュと仲良くしてはいけません。
学生達の将来の結果を少しでも見ないうちはエンムラージュの所へ行っははいけません。
10年20年先の未来からの留学生であるこの学生達が、
間違い無くダンプスをより良く変えていく姿を、絶対に見ることが出来るでしょう。
この新校舎は、教育の神様・サラソティ(弁天様)のように見えませんか？
ダンプスの方々、年寄りの方々、心からオメデトウございます。

今日、ダンプスの外から、
このセレモニーの応援に駆けつけて下さった皆様、
有難うございました。
来て下さった方々に深くお礼を申し上げます。

私はこの新校舎が完成したことを本当に嬉しく思っています。
縄を首に巻きつけてでも、サラソティがこの学校から逃げないよう、
そしてサラソティが笑顔を見せてくれるよう頑張ってください。
かっこいい学生が増えることを心から願っています。
この学校を皆で真のランドマークに育て上げ、ダンプスが更に発展することを願っています。
有り難うございました。

新校舎完成、心からオメデトウございます。
ACAジャパン代表、杉本清彦